

第46回 小須戸地区市民展 ご来場ありがとうございました



菊花薫る10月29日(土)・30日(日)の2日間、3年振りに待望の「小須戸地区市民展」を開催しました。日頃のサークル活動で制作した作品の鑑賞に小須戸地区内外から四八〇名もの来場者が訪れ、芸術の秋を堪能していました。パネル設営・撤収にお力添えをいただいた皆さん、ご協力大変ありがとうございました。



発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
・ホームページ
・Facebookの情報も随時更新中

笑顔健康クッキング

丈夫な骨作りは毎日の食事からと減塩!
～コロナ禍対応編～

●内容 保健師・栄養士の講話・運動実技
新潟市食生活改善推進委員協議会
秋葉支部の食推による調理の
デモンストレーション

●持ち物 筆記用具・内履き
みそ汁の汁 (塩分測定希望者)

●対象 どなたでも (新潟市民に限ります)

●定員 20名(予約制)

●締切 11月25日(金)まで

令和4年
11月29日(火)
10:00~12:00
小須戸地区
ふれあい会館

お申込先 小須戸地区公民館
☎0250-25-5715
(平日9時~17時の間)

リバーサイド シネマ

小須戸老人福祉センター (秋葉区小須戸3870-2)

●上映日時と作品
12月13日(火) 13:30~14:30
上映作品: **みたらし団子**
~老いてこそ我が道をゆく~

●申込不要・当日直接会場へお越しください。

事業紹介

小須戸野球スポーツ少年団水澤喜代志さん 日本スポーツ少年団より顕彰

10月2日(日)新潟市陸上競技場で
行われた「スポーツ体験フェスタ
2022」において、野球スポーツ
少年団の指導を39年に渡って続けた
ことの功績を称え、日本スポーツ少
年団本部より表彰されました。水澤
さんより「少年野球の指導で自身も
成長できたと思います。関わってく
れた子ども達、保護者の皆さんあり
がとう。」とコメントいただきました。

小須戸中の生徒が公民館で 職場体験を行いました。

9月21日(水)・22日(木)にかけて、2年生2名が「館報編集
会議」への参加や、講座のポスター作りなどを行いました。制
作したポスターは花の湯
館など公共施設に掲示し
ました。

今回体験に来られた中
学生の感想は「ちょこっ
と一言」の今月号と来月
号に掲載されます。ご一
読ください。

「公民館職場体験の感想」

菊田 百華さん

私は学校の職場体験で小須戸地区公民館の方々にお世話になりました。私は公民館の仕事内容があまり思いつかずに、緊張していましたが、実際に仕事を教えて貰うと、地域の私を含めた方たちと関係があり、公民館には私の知らない小須戸が載っていることも楽しく過ごせました。しかし、その一方で「どうやら人が来てもらえるか」「どうしたら見えてもらえるか」など、職員さんたちがとても考えて公民館報やポスターなどを作っていることも知りました。実際に作成を手伝うとその大変さが分かりました。そして、今まで読んでいなかった公民館報を読んだり、イベントに参加してみようかなど、思いもよらない職場体験は色々なことを学べてとても良い経験になりました。学んだことやこの経験をこれから先働くときなどに活かせるようにしていきたいです。

小須戸今昔展 vol.18 「小須戸橋」

(協力: 小須戸コミュニティ協議会 小須戸アーカイブ' S)

明治36年に初代の小須戸橋(300間≒約540m)が架設。それまでは対岸の戸石まで渡し舟が通っていた。大正3年に洪水で流失、大正15年に2代目橋も洪水により流失。写真は3代目橋。

昭和38年に永久橋(4代目)として竣工。翌年の新潟地震により一部の橋脚が1mほど沈下し、補修補強工事が行われた。

令和2年(2020年)平成5年3月、自転車・歩行者専用橋が架設された。現在、700m上流に新小須戸橋の建設が進められている。

編集委員のつぶやき

アルビJ2優勝おめでとう!! そしてJ1昇格おめでとう♪この大きな波に乗かって、アルビBBも2勝目指してファイトー♪(I)

公民館事業紹介

年末に「モノづくり」に取り組んで、気持ちよく飾ったり、使ったりしてみませんか？

門松づくり

◆門松(かどまつ)は年神様を家に迎え入れるための依り代としてお飾りする日本の伝統文化です。新しい年に向け、祖父母または親子で作ってみませんか。

12月17日(土) 13:30~15:30

- 会場：小須戸まちづくりセンター 2階 研修室1・2
- 対象：小学生とその保護者(祖父母と孫 または 親子)
- 定員：先着 8組
- 参加費：1,000円(当日持参してください)
- 持ち物：花ばさみ、マスク
- 申込み期間：11月15日(火)~11月30日(水)

*新型コロナウイルス感染の拡大状況により、今後、中止もあります。
*当口、風邪症状(37.5度以上の熱、せき)のある人は、参加できません。
*マスクの着用をお願いします。

作ってお持ち帰りできます。
お申込み：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715

小須戸地区公民館

はじめての LEATHERCRAFT

レザークラフト体験会

新型コロナの影響で、おうち時間をどのように過ごしていますか？身近な日用品を制作することで、モノづくりの楽しさを体感し、新しい趣味と仲間づくりを始めませんか？

日 時：令和4年12月16日(金)
午後7時00分~9時00分

会 場：小須戸まちづくりセンター
2階調理室(秋葉区小須戸128番地1)

内 容：ペンケースを作ってみよう

対 象：中学生以上・8名(先着順)

講 師：公民館職員

参加費：800円(材料費として)

持ち物：マスク・筆記用具

申込み方法：下記の方法をお願いします

小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715(平日午前8時半~午後5時)へ電話

申込み期間：11月15日(火)~12月9日(金)

※新型コロナウイルス感染の拡大状況により、今後 中止・延期もあります
当日、風邪症状(37.5度以上の熱・せき)のある人は参加できません

小須戸地区図書室 新刊案内

【一般書】

- 『「認知症の人」への接し方のきほん』 矢吹 知之/著 (翔泳社)
- 『サステナブルな自炊生活』 しらいし やすこ/著 (朝日新聞出版)
- 『恐竜超世界 IN JAPAN』 植田 和貴/著 (日経ナショナルジオグラフィック)
- 『N』 道尾 秀介/著 (集英社)
- 『くるまの娘』 宇佐美 りん/著 (河出書房新社)
- 『結局、自律神経がすべて解決してくれる』 小林 弘幸/著 (アスコム)

【児童書】

- 『なぞなぞでおばけやしきたんけん』 石津 ちひろ/文、大島 妙子/絵 (アリス館)
- 『川まつりの夜』 岩城 範枝/作、出久根 育/絵 (フレーベル館)
- 『これ、なーんだ?』 今井 しのぶ/写真 (マイルスタッフ)
- 『とんかつのぼうけん』 塚本 やすし/作 (ポプラ社)

秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

- ◆インフルエンザ予防接種◆
・感染しても症状が軽く済む、脳症や肺炎などの重症化を防ぐ効果があります。接種後、2週間くらいで免疫ができ効果は5か月くらいとされています。
・毎年、流行する型が変わるため、毎年、接種を受ける必要があります。予防接種の助成もあります。
※季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は症状が似ているため、鑑別が困難です。症状がある場合は、医療機関に相談・受診をしてください。
- ◆高齢者の肺炎球菌予防接種◆
・肺炎は日本人の死因第5位を占め、原因として一番多いのが肺炎球菌によるものです。予防接種は感染予防に効果があります。
・令和4年度の助成対象は、令和5年3月31日時点で、65歳から5歳間隔で100歳までの方、過去に同じ肺炎球菌ワクチンを一度も受けていない方です。

文芸欄

短歌	川柳	俳句
憂き現活いろ赤とんぼ山に 加茂松坂は故郷の歌 形身玉に今年も赤く色づいて 終活に眠る名刺の束を見ゆ 赤とんぼ山にのびのび遊そぶの 彼岸花風にゆれるや里山で 彼岸花風にゆれるや里山で 寸胸な腰だがやはりベルトする 座るにも立つにも腰へお伺い わが孫が東大パスで腰がぬけ 腰かけのつもりが天職に 痛み出て腰の大事さ思い知る 青空にパンパスグラス深大寺 孫の顔見せに遠路を敬老日 病む人を按じて過ごす敬老日 爽涼や窓を開いて童話読む 栗ひろふ後から栗の落ちる音 名月や遠い昔をしのぶ夜 秋空に色とりどりの熱気球	高橋 久保 玲 奉 み キヨ ネ子 和 け ヨ 子 泉 崇	ヒメイチゲ 間野 多野 吉澤 馬場 風間 吉田 えり 子 浪 子 子 幸子 中野 太文 綾 幸 本多 玲子 子 子

俳句・川柳・短歌募集 題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、締め切りは11月22日(火)となります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。



美容と健康と仲間づくりに役立てましょう(^_^)

レクダンス講習会 参加者募集

日 時 11月27日(日) 10:00~12:00

会 場 ふれあい会館 多目的ホール

参加費 200円(資料・保険料)

持ち物 動きやすい服装・運動靴・タオル

申込み 山の手コミ協(38-3151) 11月22日(火)締め切り



「地域お手伝い隊」活動報告

今年度は12件の依頼がありました


コミ協福祉部会では、昨年度に高齢者のお宅の草刈りや、家外整理のお手伝いを目的に「地域お手伝い隊」を立ち上げ、コミ協通信や公民館報で利用の周知を図りました。

5月から10月までの間で、12件の依頼を受け、12名のメンバーで活動しました。

依頼者からは「草で覆われたお家がキレイになり、スッキリとした気分になれた。」等、大変喜ばれました。

活動ボランティアとして参加された方からは、「よろこばれ、感謝され、ありがたい気持ちになりました。」という感想が寄せられました。

来年度も5月より活動を行う予定です。



◆お問い合わせ・協力ボランティア(活動員)の申込先
小須戸コミュニティ協議会(電話:0250-47-3665)